

にいがた野鳥観察 ガイドブック

バードウォッチング入門



このガイドブックでは、
バードウォッチングの
マナーや市内の
おすすめスポットを
紹介します。

- フィールドマナー
- 準備するもの
- バードウォッチングへ行こう
- おすすめバードウォッチング
- 市の鳥ハクチョウについて
- おすすめバードウォッチングスポット



フィールドマナー

○フィールドマナーとは、野鳥を観察する時の心遣い、基本的なルールです。

野鳥への気配り

- ・野鳥を不安にさせない距離から観察しましょう
- ・静かに観察し、驚かせないようにしましょう
- ・巣を見つけても近づかず、見守りましょう



自然への気配り

- ・足元の草花にも気を配りましょう
- ・ゴミは持ち帰りましょう
- ・タバコなど火の始末は厳重に

人への気配り

- ・他の人の迷惑にならないようにしましょう
- ・親しみと協調が大切です



■ 特に気を付けよう! 野鳥写真マナー

- ① 営巣中の巣、巣にいるヒナ、巣に入ろうとする親鳥など子育て中の撮影は避けましょう。
- ② 餌付け、音声による誘引、ストロボを用いた撮影は避けましょう。
- ③ 公共の場では、植物の移植や石の移動といった環境の改変は控えましょう。



■ こんな点にも注意しよう! 観察や撮影に共通する大切なマナー

- ① 野鳥に接近しすぎて驚かせ、飛ばせてしまうような観察や撮影は避けましょう。
- ② 希少な野鳥の観察情報をネットに発信などした場合、その場所に観察する人が集まることも考えられるため、地域での事前相談を行いましょう。
- ③ 通行の邪魔や駐車場の邪魔とならないよう十分配慮しましょう。
- ④ 近隣住民の私生活を覗くような形とならないよう、双眼鏡などの向け方に注意しましょう。





準備するもの

夏のスタイル



夏は熱中症対策を！

冬のスタイル



冬は防寒対策を！

<基本的なもの>

- ・動きやすい服装
- ・ウエストバッグなど
- ・双眼鏡
- ・雨具

<あったらよいもの>

- ・野鳥図鑑
- ・ノート（ポケットサイズ）
- ・望遠鏡
- ・三脚
- ・カメラ



バードウォッチングへ行こう

- バードウォッチングでは「発見する楽しみ」「身近な野鳥に気づく楽しみ」「四季の変化に気づく楽しみ」があります。
- 自宅の庭や最寄りの公園、神社、池や潟、川といったように、身近な場所から始めていき、慣れてきたら少し離れた場所へ足をのばすことで、野鳥にたくさん出会えることに繋がります。





おすすめバードウォッチング

○市内や近隣の各施設でバードウォッチングが行われています。

施設	イベント	野鳥観察舎	施設HP
水の駅「ビュー福島潟」	バードウォッチング	が ん ば し ゃ 雁晴れ舎	
新潟県立鳥屋野潟公園 (鐘木地区)	バードウォッチング	と り み あ ん 鳥観庵	
佐潟水鳥・湿地センター	佐潟自然散歩、 佐潟探鳥散歩	か た み と り 潟見鳥	
新潟県愛鳥センター 紫雲寺さえずりの里	初心者探鳥会など		



市の鳥ハクチョウについて

- 新潟市はコハクチョウの越冬数日本一です。潟を中心として毎年1万羽以上のコハクチョウが飛来し、10～3月にかけて、全国に飛来する数の約3分の1から4分の1が新潟市に越冬するため、市の鳥に制定しています。
- 新潟市の豊かな自然環境、水辺環境を表すシンボルであり、いつまでもコハクチョウ越冬数日本一の都市といえるように、市民の皆さんと環境保全に取り組んでいます。



新潟市環境部環境政策課
〒951-8550
新潟市中央区学校町通一番町602-1
TEL.025-226-1359 FAX.025-222-7031
令和3年3月発行



みんなで創ろう
環境モデル都市
2013.3.15 鳥のまち
NIIGATA CITY



おすすめバードウォッチングスポット

- 新潟市でバードウォッチングする際に、おすすめの観察場所と主に見られる鳥についてご紹介します。
- バードウォッチングを楽しむためには3つのコツがあります。



見つけるコツ

「意識して見る」ということが大切です。街中の電線や、家の屋根、水辺ならば杭の上、公園のしげみの中、開けた場所など自然の中で野鳥がとまっていることの多いところを見てください。



見分けるコツ

- ① **大きさ**
スズメ、ムクドリ、キジバト、カラスなど身近な鳥で見慣れている種類を基準（ものさし鳥）として、見つけた鳥を比較しましょう。
- ② **体型**
見つけた鳥がどんな鳥の仲間か形やシルエットから判断できます。（「木の幹に縦に止まっているからキツツキの仲間だ」「タカの仲間だ」など）
- ③ **色や模様**
シジュウカラの胸の黒い帯、カルガモのくちばしの先の黄色など代表的、特徴的な部分を見て、図鑑で調べましょう。

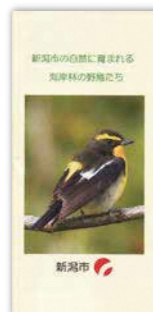


聞き分けるコツ

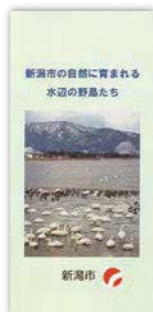
自然の中に行ったら3分間、耳を澄ませてみましょう。鳥の声のみならず、風の音、虫の声など自然の音に気づくでしょう。
野鳥の声を人の言葉に置き換えた「ききなし」も野鳥の声を楽しみながら覚える良い方法です。インターネットなどで野鳥の声を聞いて、予習をしておくといいでしょ。

参考資料／(公財)日本野鳥の会 野鳥を楽しむポータルサイト「BIRD FAN」

この2つの冊子もご活用ください



新潟市の自然に育まれる
海岸林の野鳥たち



新潟市の自然に育まれる
水辺の野鳥たち



海岸林



観察ポイント

- 鳴き声を頼りに探してみると、見つけやすいです。
- 林内に入ると観察できる場所が限られるため、林縁など開けた場所も回りながら探してみましょう。
- 林内の地面や低木のしげみを観察すると、ツグミの仲間やウグイスの仲間がいるかもしれません。

主な観察場所

- ・海辺の森（北区）
- ・西海岸公園（中央区）
- ・青山海岸林（西区）



里山

観察ポイント

- 里山には、沢や畑地など様々な環境が見られます。環境ごとに見られる種類も変化しますので、いろいろな場所を散策してみましょう。
- 広葉樹の林や、林縁など開けた場所を確認しましょう。

主な観察場所

- ・秋葉公園（秋葉区）
- ・角田山（西蒲区）



主に観察できる野鳥



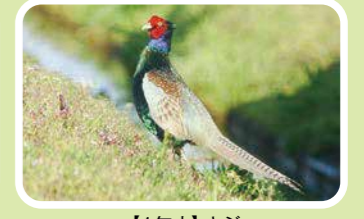
【1年中】ハクセキレイ



【1年中】ホオジロ



【1年中】カワラヒワ



【1年中】キジ

潟・水辺



観察ポイント

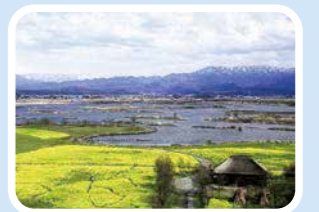
- 水辺などの開けた場所は鳥たちからもよく見えるため、少しずつそっと近づきましょう。
- コハクチョウやオオヒシクイを観察するなら早朝がおすすめです。飛び立ちが見られるかもしれません。
- 特に陸地と水面の境となる水際に注目しましょう。
- カモたちが飛び立った時は上空にも注目してみると、カモを狙っているタカの仲間が近くにいるかもしれません。上空を飛んでいる鳥も探してみましょう。
- ハクチョウやカモは見つけやすいので、初心者にもおすすめです。

主な観察場所

- ・福島潟（北区）
- ・鳥屋野潟（中央区）
- ・佐潟（西区）



主に観察できる野鳥



福島潟（新潟市北区）



鳥屋野潟（新潟市中央区）



佐潟（新潟市西区）

主に観察できる野鳥



【1年中】アオジ



【秋～冬】コハクチョウ



【秋～冬】マガモ



【1年中】シジュウカラ



【1年中】ダイサギ



【1年中】カワセミ